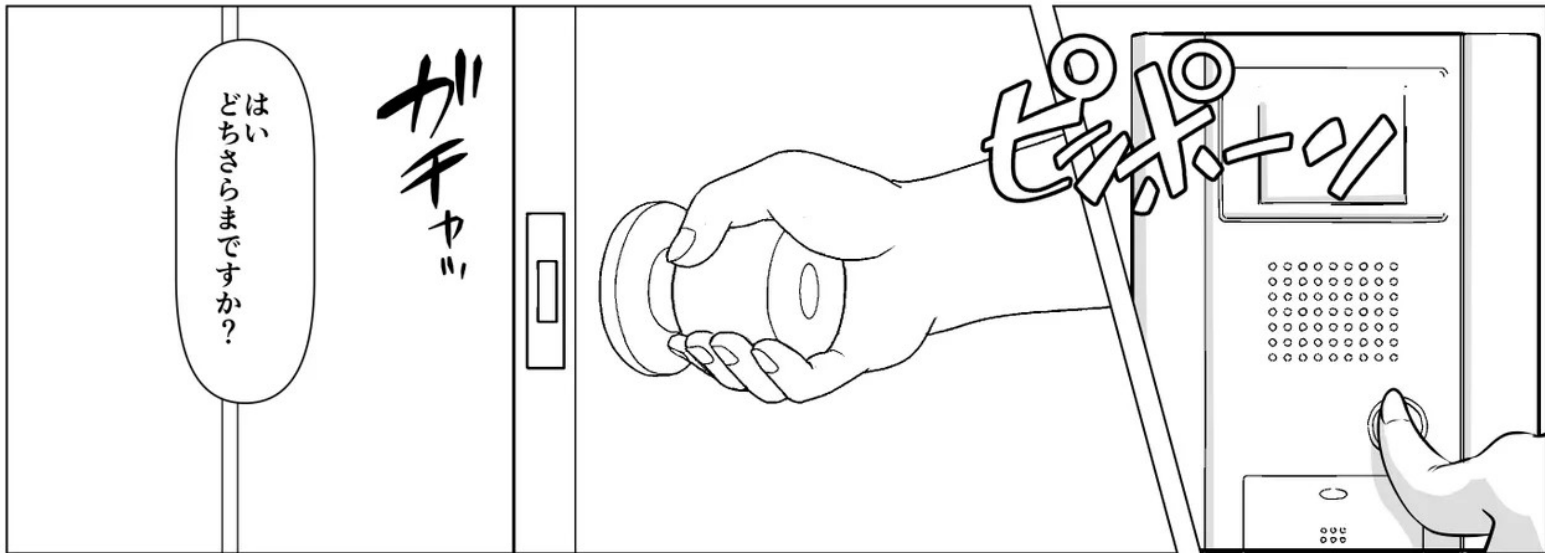




● 宗教に興味ありませんか？ ●



はい
どちらまでですか？

か
チャッ

セポーン



こんにちは
私はドルア教の信者です

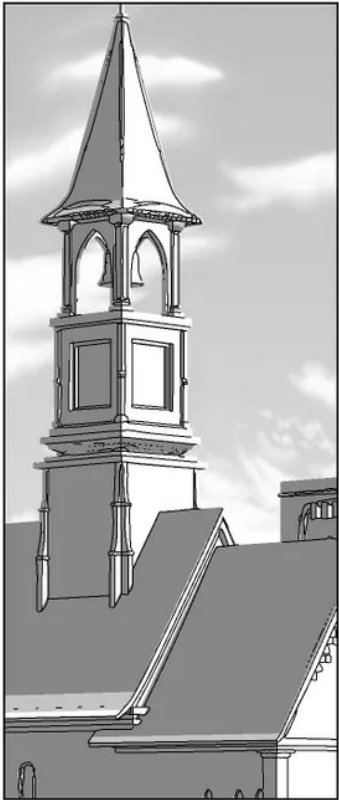
え？宗教？

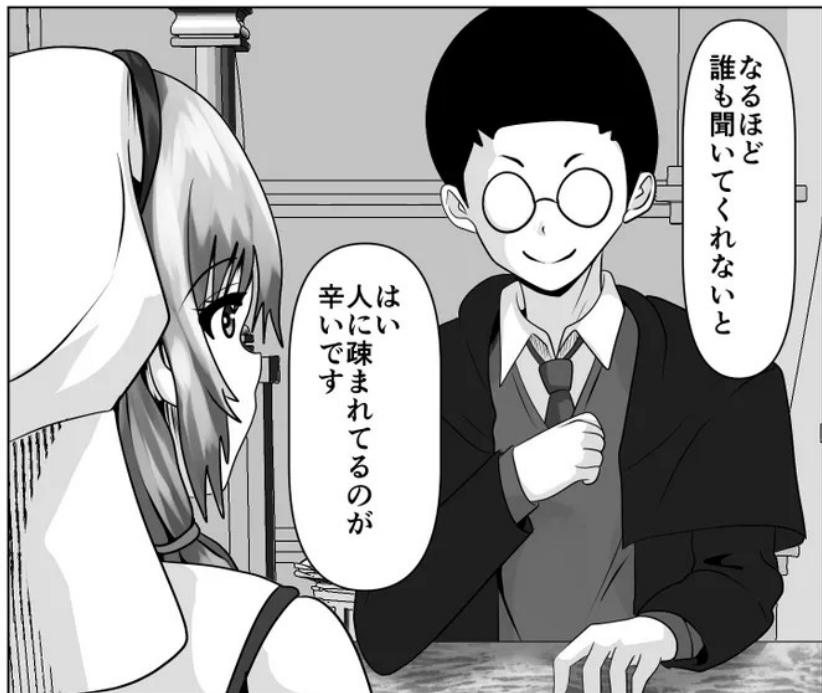
もしよろしければ
私たちの宗教について
お話できませんか？

私たちの宗教団体は
信仰と愛に基づく
コミュニティであり
互いに助け合って
幸せに生きています

もし何か悩みや苦しみを
抱えていらつしやるなら
私たちが祈りと愛の手で
サポートします

どんなことでも
お気軽にお話し下さい





あら嫌だわ人目も
はばからず
二人で愛を
確かめ合ってる

うふふ
お熱いわね

すっ
すみません

かあ

いつき君とは幼馴染で
ドルア教で決められた
運命の相手で私の許嫁

いつき君は
優しさがあふれる人
私が何か悩みを抱えていると
彼はすぐに気づいて
声をかけてくれるし

時には彼自身が忙しいときでも
私を優先して
手を抜いてくれることがある
その姿勢にいつも心打たれる

彼の愛で私は幸せ
だからこの愛の幸せを
皆にも教えてあげたい

え？柳沢さん
今日これないんですか？



はい体調が優れないみたいで
ですので宗教勧誘は
お休みって事になりますね



あの…私一人でも
大丈夫です！



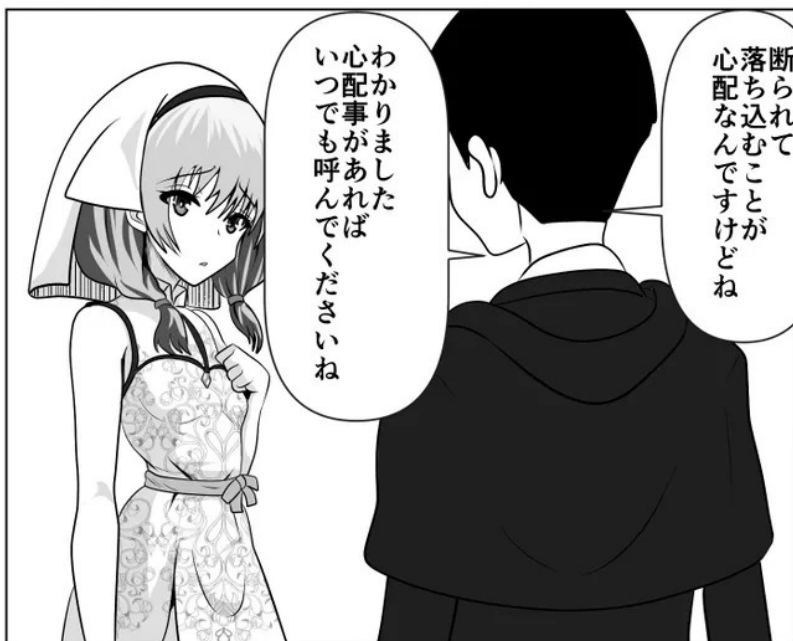
ミカ一人だと
危険ですし無理しなくても

何かあっても
大丈夫
こう見えても
奇跡使い
なんですから

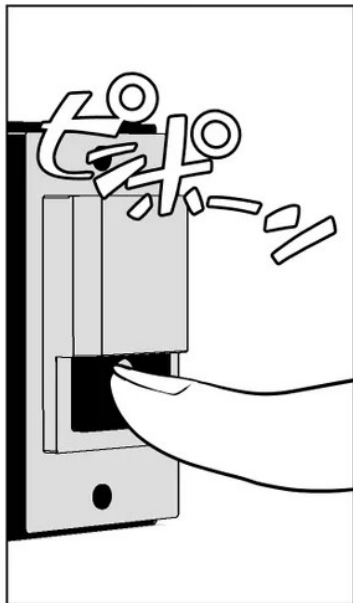
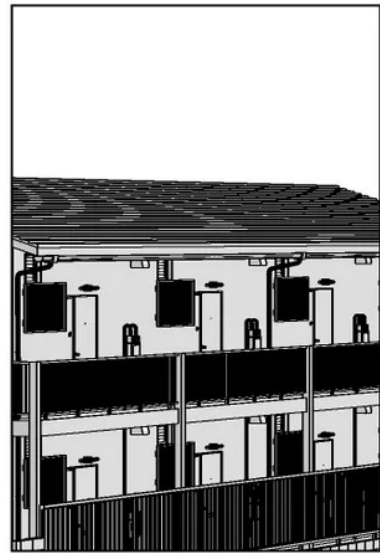


断られて
落ち込むことが
心配なんですけどね

わかりました
心配事があれば
いつでも呼んでくださいね







ガチャッ

あ？だれだデメエ

わわっ怖い人だ
どうしよう

誰かに
頼まれて来たのか？

あっ…
あのですね

だっダメ
人を見た目で判断しちゃ
頑張って勧誘しないと

突然すみません
お時間いただけたらと思い

そっその
宗教の話をしたいのですが
よろしいでしょうか？

はあ？宗教だ
興味ねーよ

その気持ち
わっわかります

誰でも最初のうちは
興味ありませんから

私たちの信じるものが
あなたの人生に
もたらす影響は
計り知れないものがありますし
宗教が怖いのは当然です

でも…少しでも
興味を持っていただけたら
私たちと一緒に
人生の幸せや愛を
探求してみませんか？



幸せや愛……
ねえ……



顔は幼いが
なかなか
いい素材だ

好きな奴には
売れそうだ



ケツは似合わず
大きいな



だが胸は小さくて
人を選びそうか



世界が生まれたとき
聖女たちは自然と
一体化していました

古代の人々を守るため
聖女ドルアは
自然の力を使いその力で
人々を癒し恐ろしい
魔物を退けさせていました

聖女たちは自然と共に生き
自然の営みを尊重することで
その力を得ることができたのです

ですが聖女に守られてる事を
良い事に繋がり人間は
強欲な感情が膨らみ
人間たちは自然を
破壊していききました

環境破壊すること
自然と聖女の
つながりが切れてしま
聖女たちは自然の力を
失ってしまったのです

我々ドルアの信徒は
自然破壊から
生まれた災害を救うべく



ポっ

おおっすげえ
本当に火だせるんだ

まだまだ
見習いですけど

俺もドルア教に入れば
魔法出来るの？

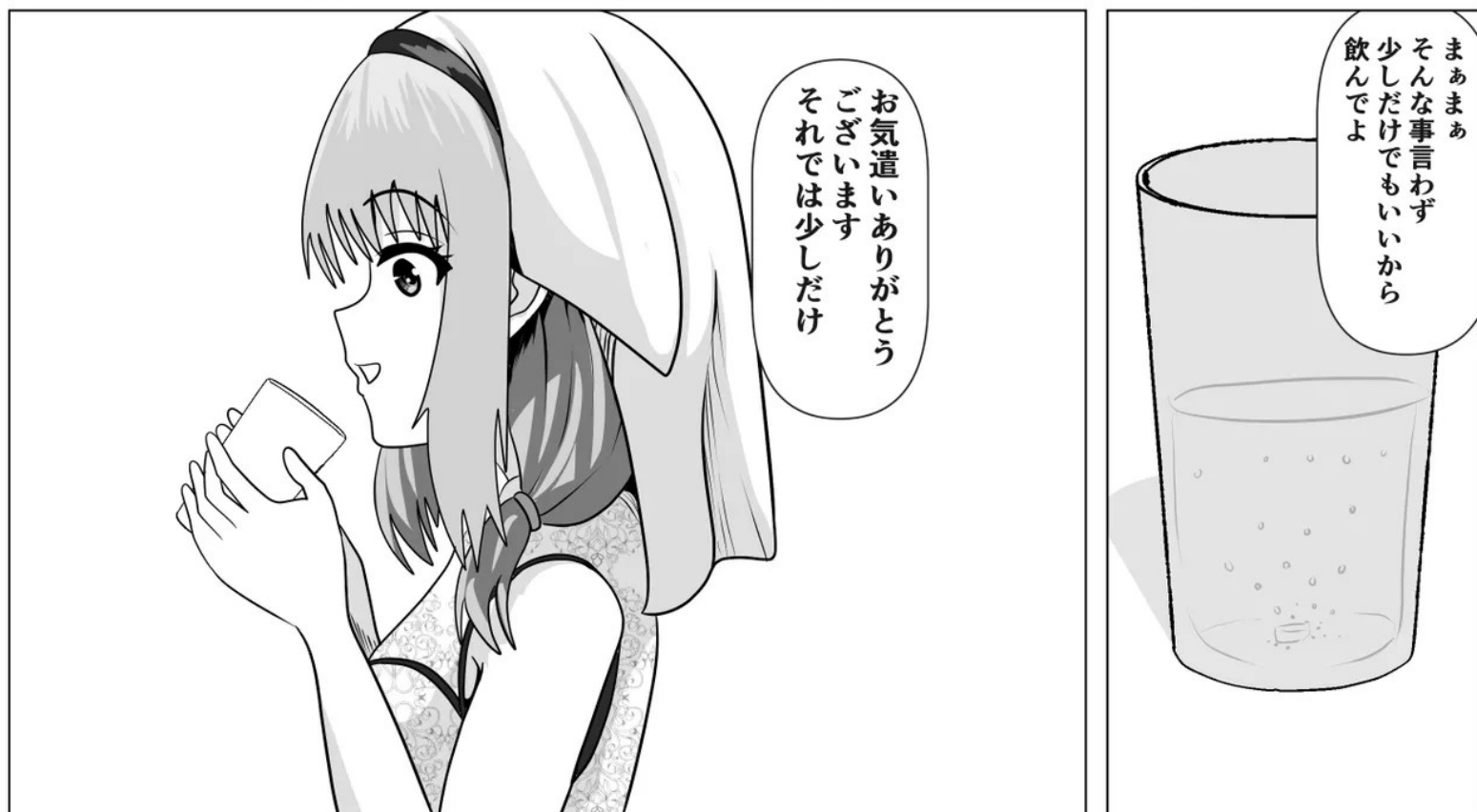
はい！修行すれば
誰でもできますよ！

マジかよ！ならさー
火が出せるなら水とかも
出せちゃうわけ？

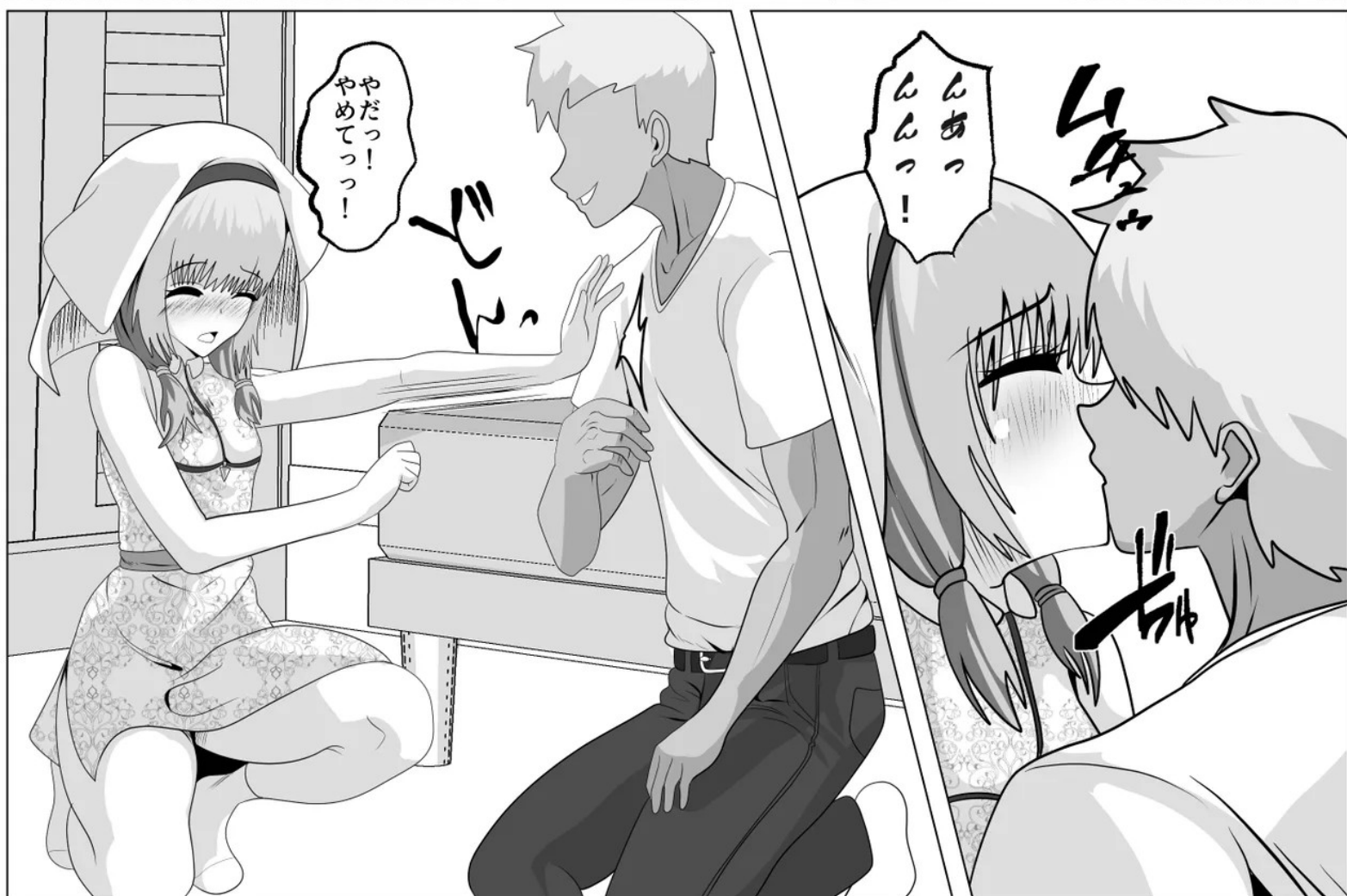
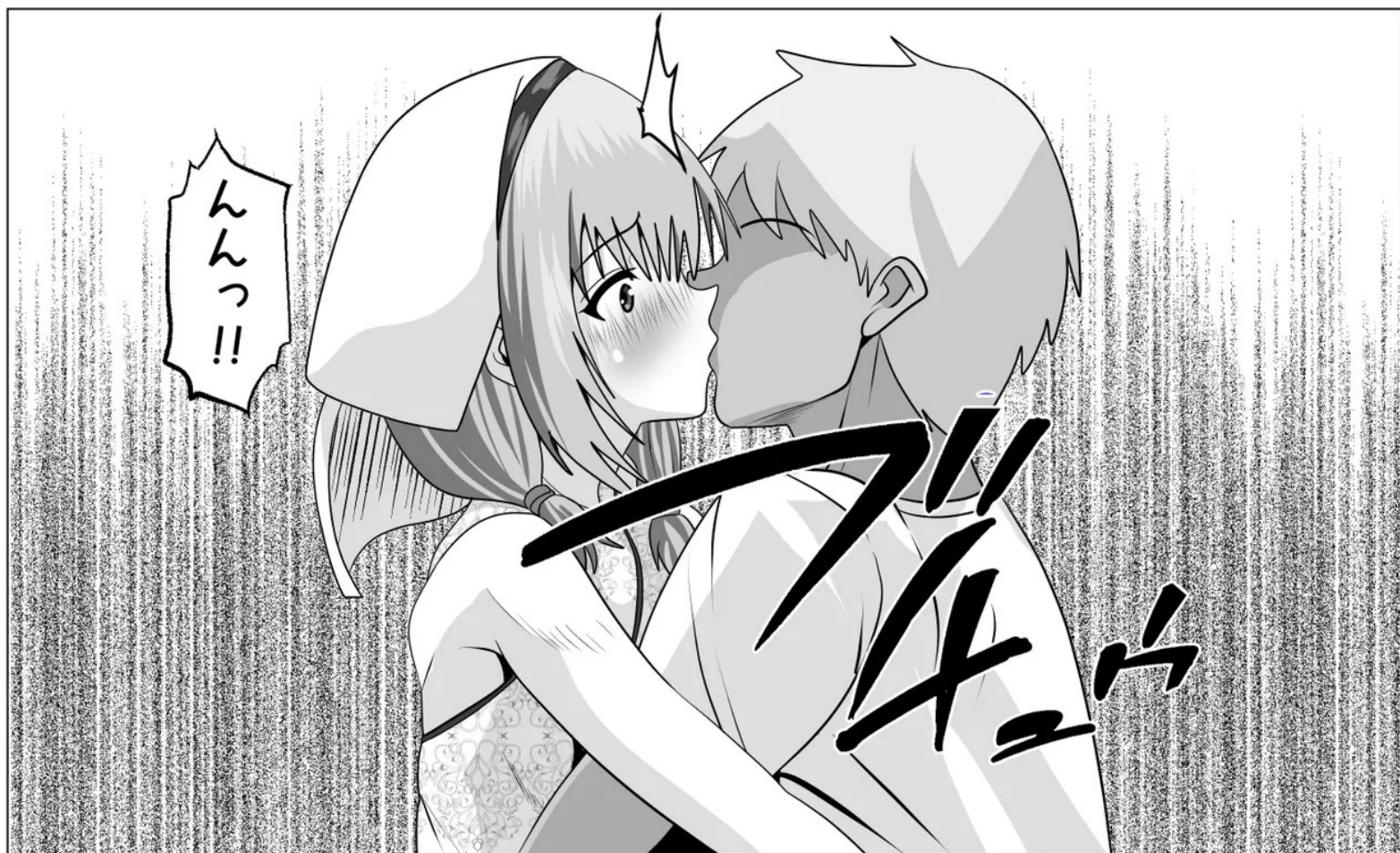
はい
試してみますか

おうっ
このコップに
水いれてくれ











あつ駄目です
そこは禁忌に触れる
箇所です

誰もが天国にいけるから
教えたら宗教に
成り立たないからな

天国スイッチオン！

ーちゅー♡

え？なに…
何が起きてるの

小股がピリピリして
気持ちいい

ド♡

ぷ♡

ぷ♡
ぷ♡

ほらほら
天国いっちゃい
そうだろ

おお
だめ

んあ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

待つッ!!
お願い!!
やめて

いけいけ!
天国にいけ!おら!

いやあ...

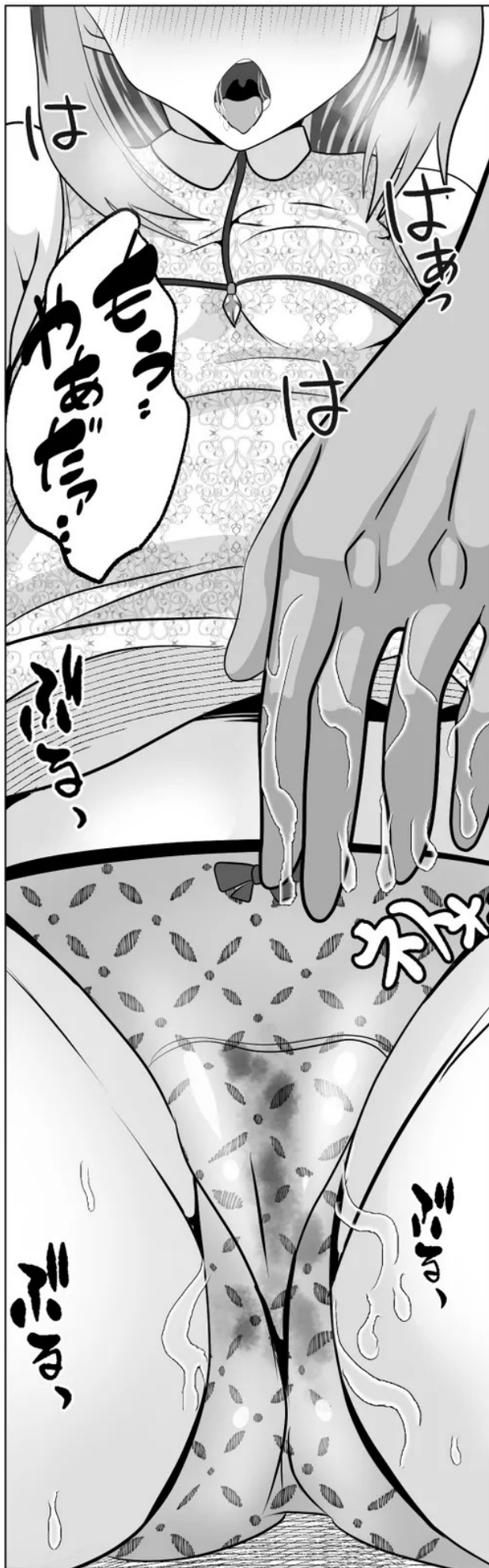
いやあ...

ちゅ

ちゅ

ちゅ





まんこビチャビチャに
なってるじゃん

びしょ

びしょ

びしょ

次は俺のチンポも
舐めて濡らしてくれよ

はあ...

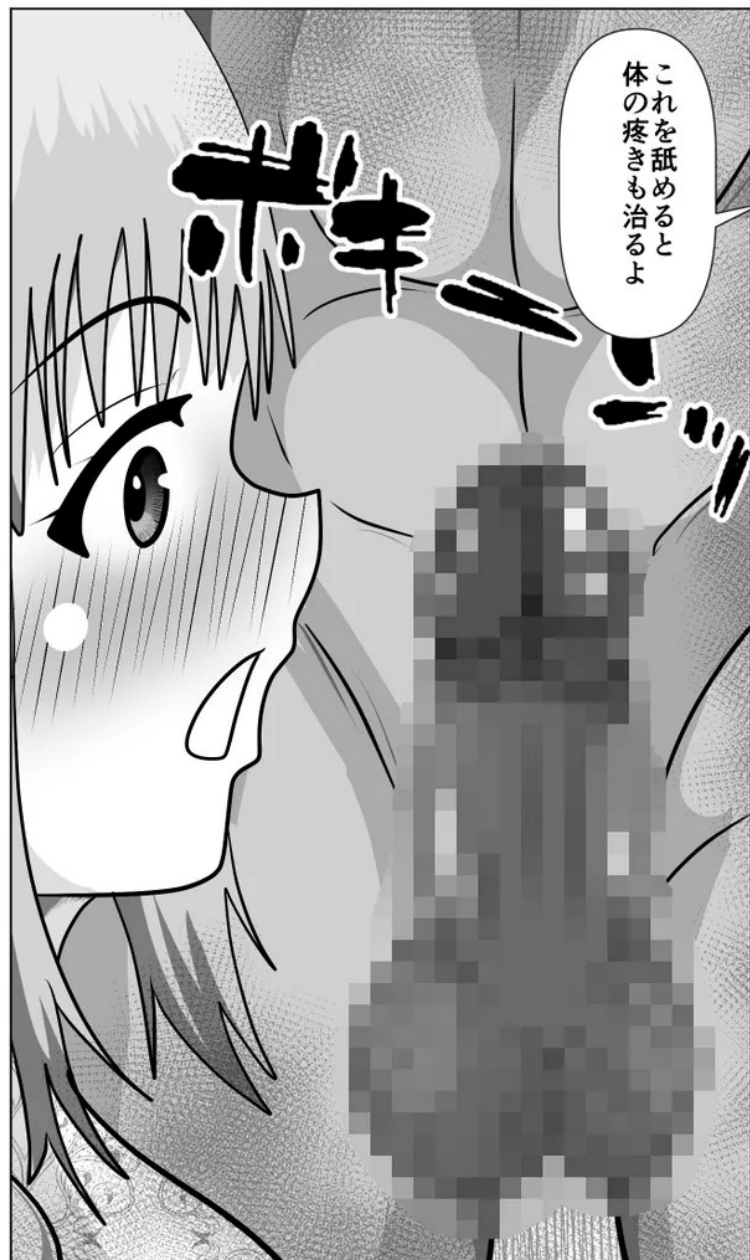
はあ...

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ







ああ
聖女のロマンコ
気持ちいい

じゅぽ

じゅぽ

じゅぽ

もつと奥に
いれるからな

しっかりと
聖子を飲めよ

くっつく

くっつく

くっつく

くっつく





それが
より気分が…
変に

げほッ

げほッ

どう
気分良くなった？

それじゃ
奥に出さないと
いけない

きゃっ
何をするんですか

カリッ

キュン

キュン

私の身体に触ることは
やめてください

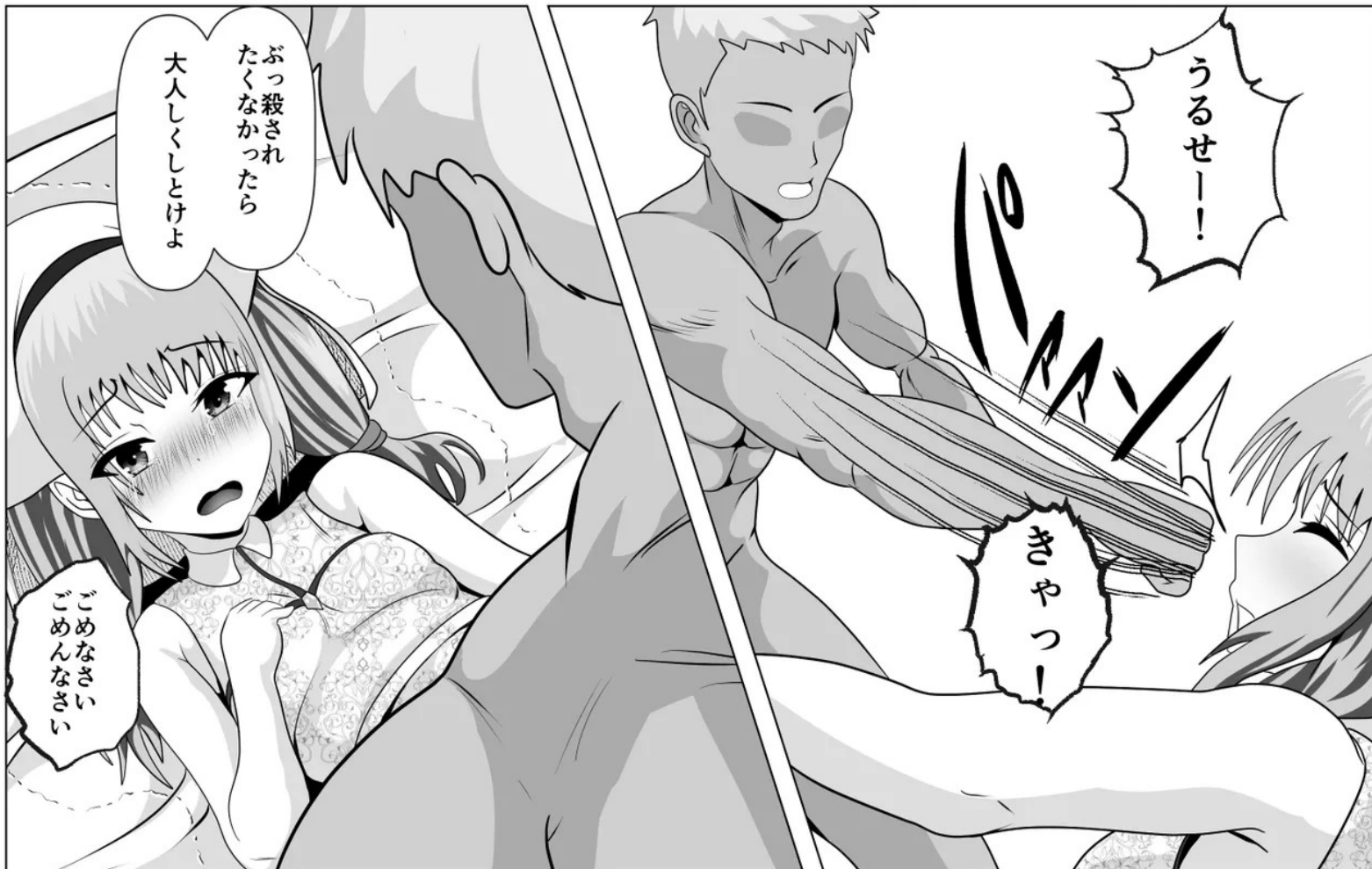
私の信仰にとって
それは聖なる領域であり
触れてはなりません！

ははっなんだよ
聖なる領域って
今から俺のチンポで
処女膜を破ってやるよ

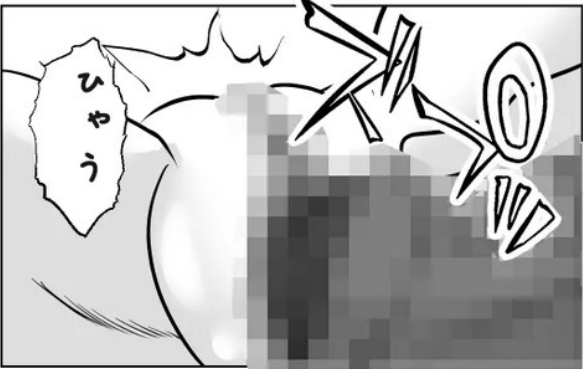
する
する
する

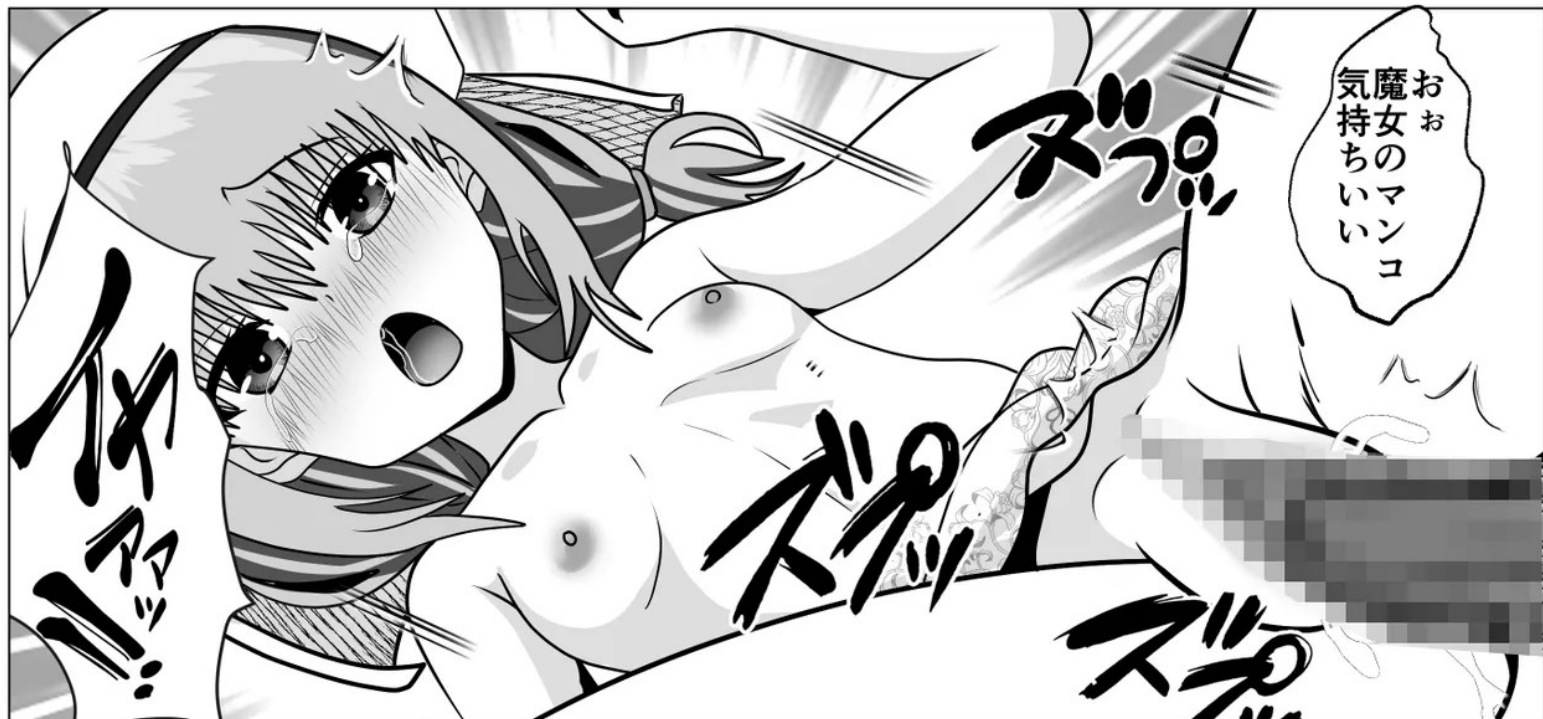
いやっ
それだけはダメ！

ぎゃ
!!















そんなに泣くなよ
お前のマンコ
めっちゃ良かったぞ

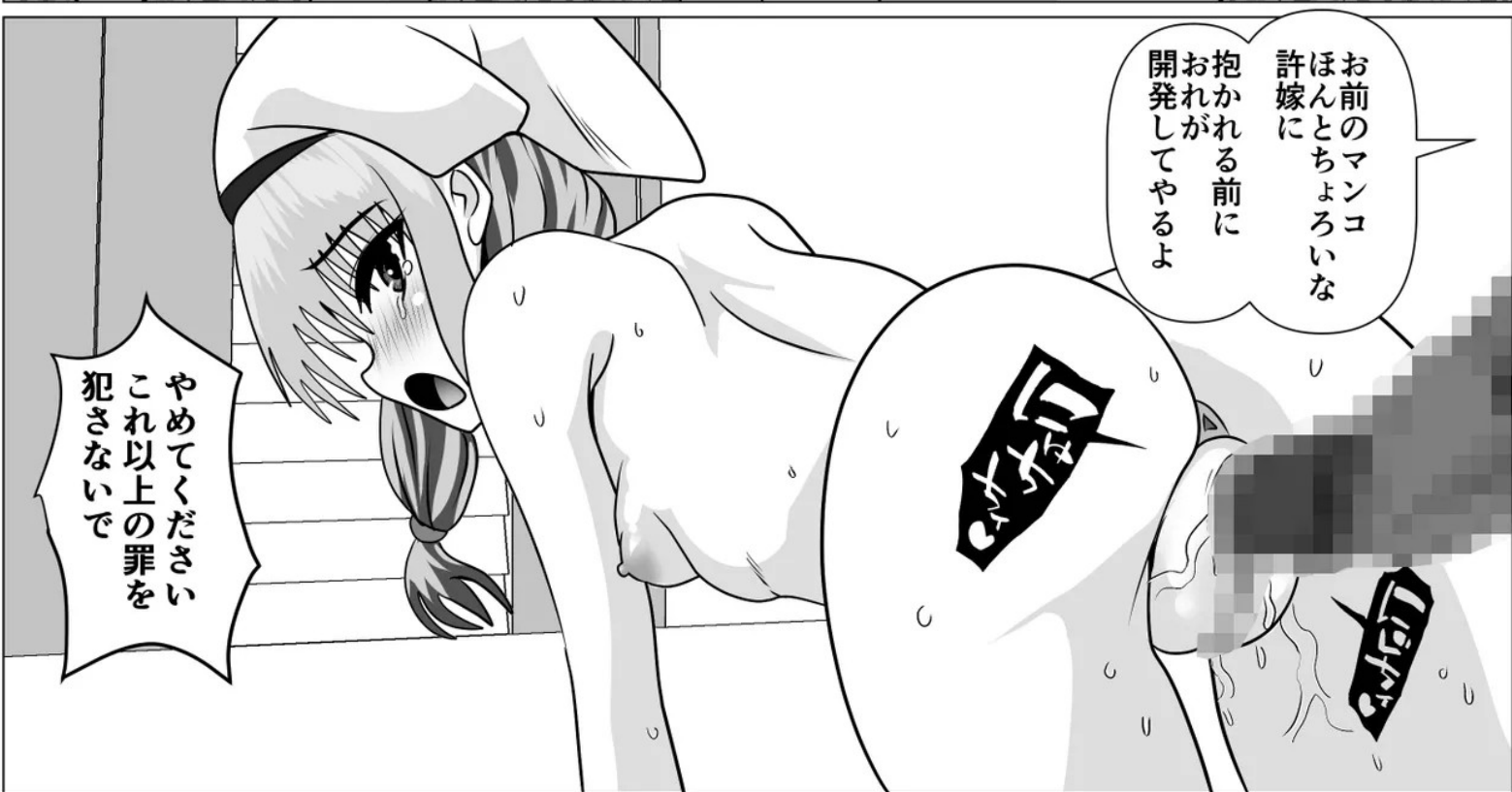
イツキ君に
何て言えばいいのか
神聖な儀式なのに

イツキって
許嫁の人？

そんな奴忘れて
俺とセックスしようぜ

やだっ
また天国に
いっちゃうっ





お前のマンコ
ほんとちよろいな
許嫁に
抱かれる前に
おれが
開発してやるよ

やめてください
これ以上の罪を
犯さないで



お前が俺の
チンコに
犯されるんだよ!



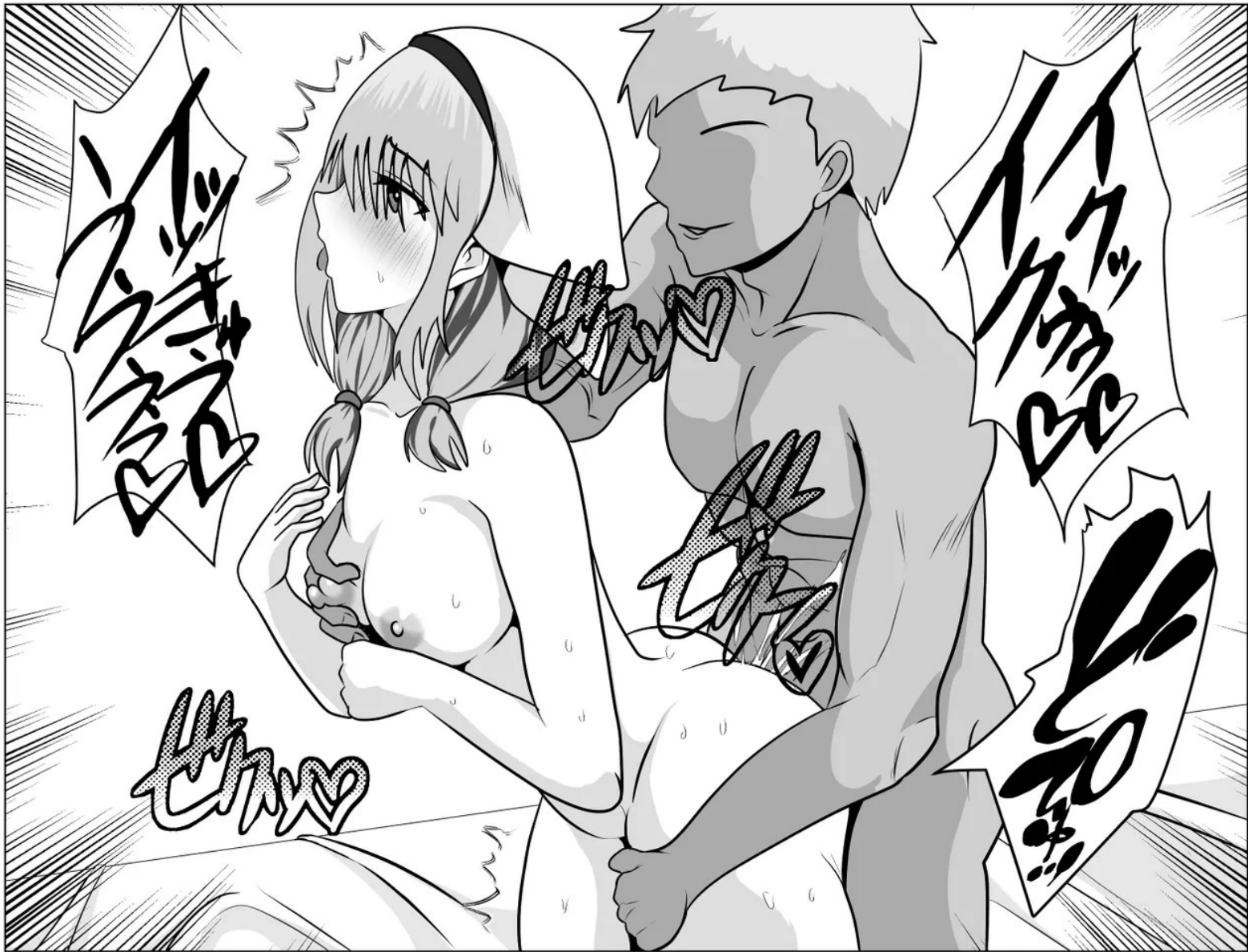
本当に
嫌なのに
どうして
気持ちいいの

これは神からの
試練なのですか?



これは
崇高な儀式なんだから
俺の女になれ!







俺のチンポ以外
入らない様に
ガバガバにしてやるよ

やめて
これれちゃう！

私の聖域を
壊しちゃだめええ！

はっ

んぎ

あああああ







名前すら知らない
男性に何度も
引き寄せられ

何度も天国へと
誘われる

い

あ

お

お

お

お

あ

抵抗しようとしても
私の身体は動けず
快楽へと堕ち
悔いを吐き出しながら
自ら脚を広げてしまう

お

あ

お

お

お

お

お

お

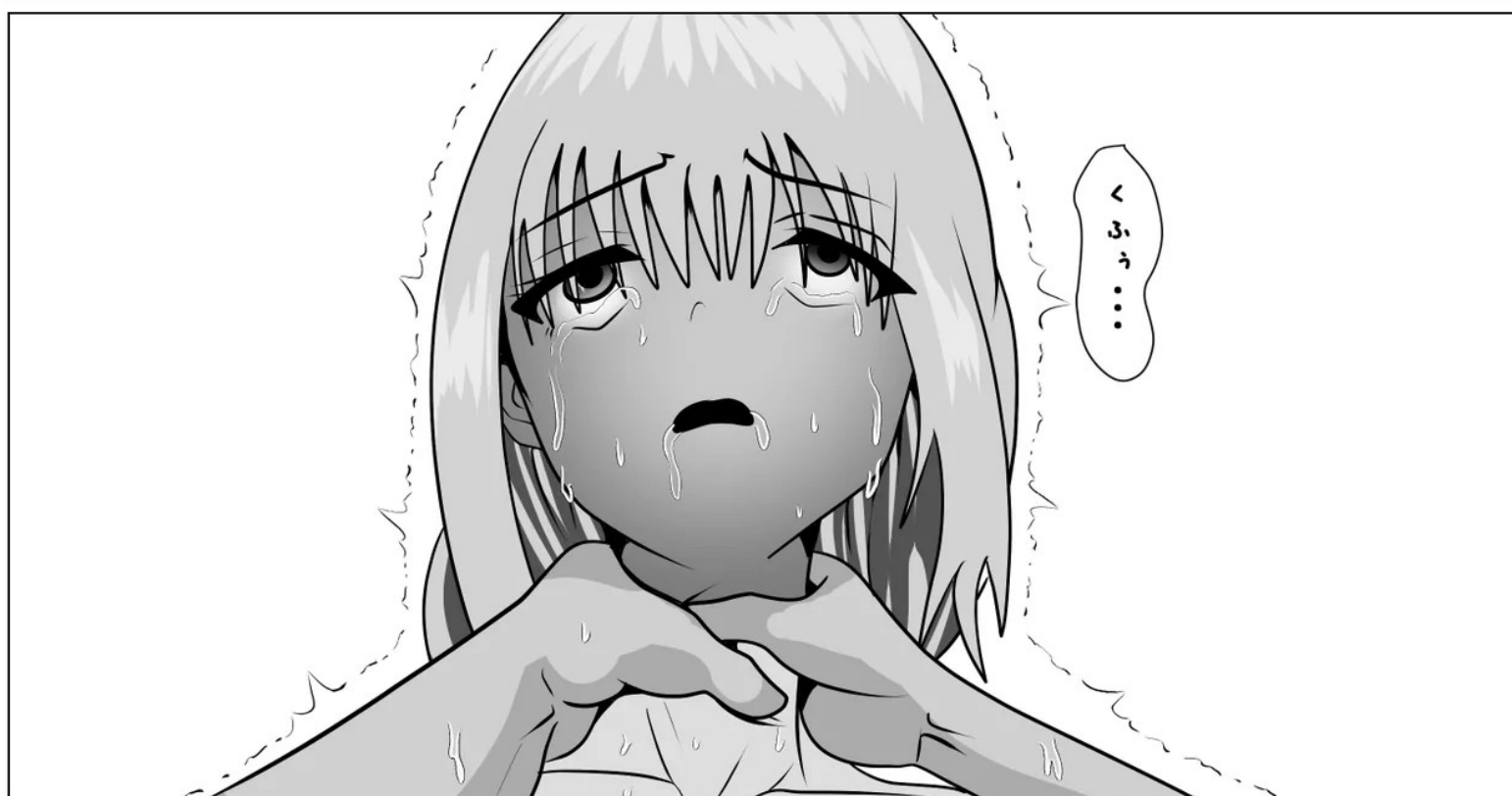
これが神からの試練なのか
それとも
この名前の知らない
男によって

墮落させられることが
運命だったのか

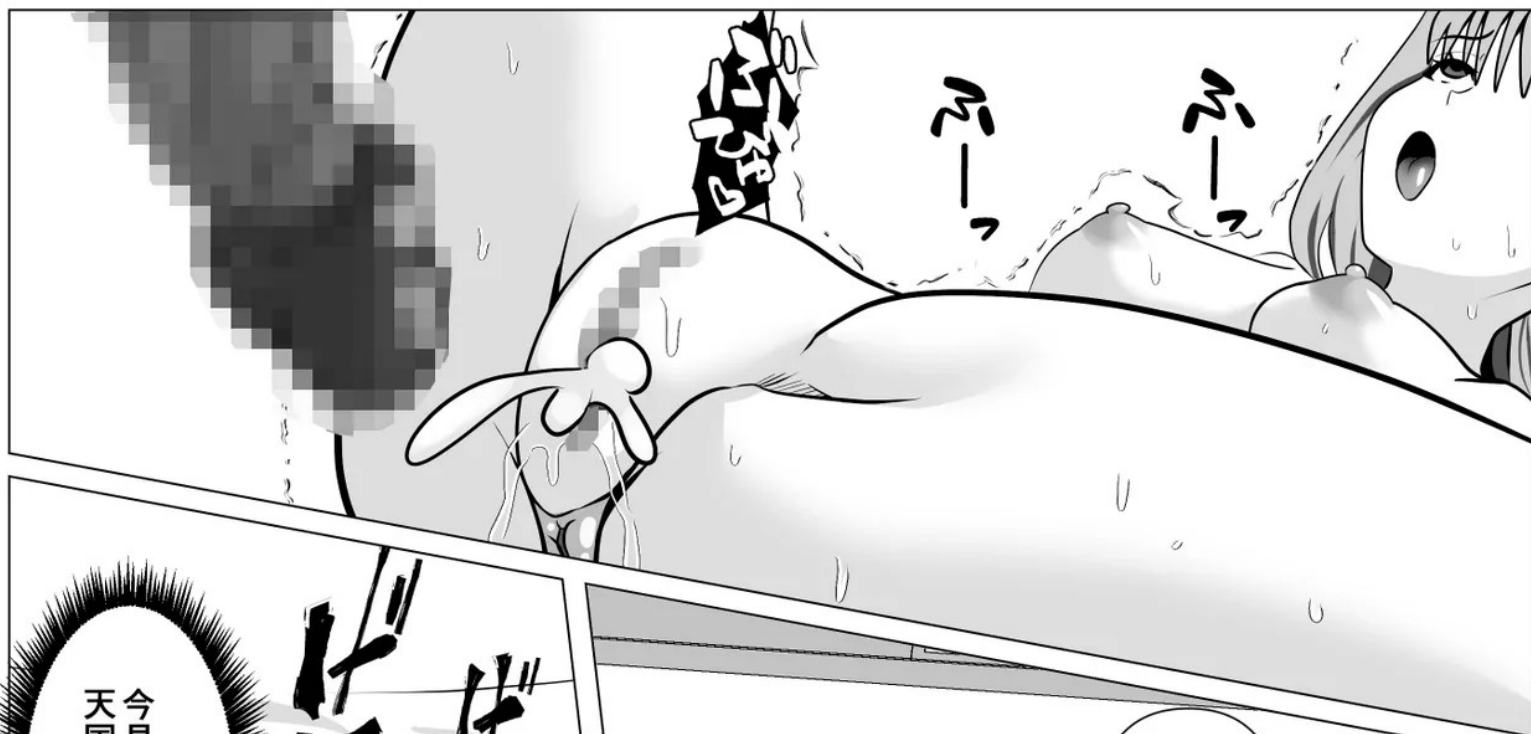




プツン







お前のマンコ気に入ったから
入信してあげるからさ
どうすればいいの？

これは
ドルア様からの
お告げなのです

このお方に
仕えしよと

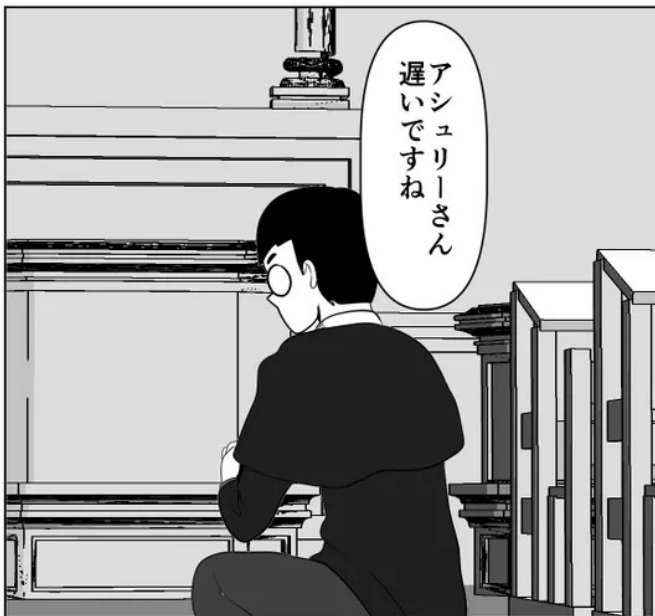
おーい
聞こえてるか？

罰ではなく
運命的な出会いだった

何時まで天国に
逝ってんだよ

仕方がねえーな
マンコにまた
挿してやるか





イツキ君
この人が
入信してくれるって

へーここが
お前が入信してる
宗教施設か

えっ？
あなたが…

信者の金で
建てたのか？

それより
アシユリーさん
何か
疲れてるような

ううん
私はその
走り回って
疲れちゃって

ポ
ー

ドキ
ドキ
ドキ



あー
おまえが
許嫁の奴か

それで入信するには
どうすんの？

あつ待つてください
今入信届を
お持ちしてくるので

何だか
嫌な人そうだな

でもアシユリーが
連れてきた人だから
断るわけにも
いかないよな

あいつが許嫁かよ
よわそーだな

そっそんな
事ないです

俺が強い子種で
孕ましてやっからな

いっ今は
まだ駄目です
事を終えてから
孕ませてください

たにん

ふあ

ああ

